

2021年(令和3年)12月1日 水曜日

朝

市民の情報紙

朝霞地区歯科医師会より

歯科医院は「痛くない時」に

行くとところ!!

朝霞地区歯科医師会

志木支部長

宮本 日出

古代文明を築いた紀元前5000年のシュメールの書物には、虫歯の原因は「歯の虫」と記載され、後のヒポクラテスは、原因に「歯列不正」「唾液」「栄養」も挙げています。そしてアリストテレスは、虫歯と歯周病の治療法について記録を残している。

近年では、ミラーが彼の著書で虫歯の細菌的考察を行い、口腔

衛生に関心を集め、1896年にレントゲンがX線を発見したわずか3ヶ月後には、歯と顎のレントゲンが撮影された。時代は変わっても、人々の口の中への関心は高いようだ。

ちなみにデンタルフロスが世界で初めて特許を取得したのは1989年で、1997年にはアメリカ歯周病学会が『フロス

をするか?あるいは死ぬか?』のショッキングなフレーズを発表した。

パンデミックとなったコロナウイルスも感染症だが、口の中の2大トラブルの虫歯と歯周病はいずれも細菌が原因の感染症である。虫歯菌も歯周病菌も、口の中に住み着いて追い出すことができず、いつも口の中は細菌にさらされて危険な状態だから厄介だ。

2001年、世界ギネス記録では「世界で最も患者数の多い感染症」として歯周病が

認定された。歯周病の原因である歯周病菌が数多くの全身の病気の発症・進行に影響を与えることは、こ

れまでの研究で証明されている。コロナに罹った場合、歯周病がある人は(ない人に比べ)死亡リスクが8.8倍以上高いこともわかっている。

口の中の健康は、生活の質を維持する『ヘルスケア』でとても大切であり、世界中の口腔ケアグッズのマーケットの成長を見ると、人々の関心が高くなってきていることが伺える。ただし「本

当に悪い細菌は歯ブラシでは落とすことができない」ことを、知らない日本人が多いように感じる。この悪い菌は強靱な膜をはり、歯にこびりついているので、身体の免疫や薬剤が効かず、現代の医療では歯科医院で取り除くしか確実な方法はない。

歯科医院は「痛くなったら行くところ」ではなく「痛くない時に行くところ」なのだ。痛くない時に歯科医院に通ってもらえる人が1人でも多くなることを願い、自分